

●第3回 豊郷町総合開発審議会 議事録

日 時：平成30年9月26日（水）

午後1:55～

場 所：豊郷町役場

別館3階 会議室

1. 会長あいさつ

会 長：これまでの各種調査のまとめより、まちづくりの課題と住民の希望を明らかにして、新しい基本方針へと導きたいと思います。

2. 議題

(1) 各種基礎調査結果の要点について

会 長：町外在住者から見れば、ワークショップなどの調査結果は豊郷町のイメージが伝わってくる内容だと思います。総合計画作成に繋がるよう、皆様からのご意見をお願いいたします。

委 員：「良いところ」が「気になるところ」にも繋がっているようです。大きなイベントの中には参加しにくいようですが、近所付き合いなど、小さな繋がりは良いように見えます。誰もが主体になれるまちになれば良いと思います。

委 員：給食費の無料化は大変に良いことだと思います。観光については固定客もできて、喜んでいただいていると思っています。しかし、協会として、今以上に良い案が出ていません。外国人の観光客が増加しており、英語の通訳ボランティアは既になっていますが、韓国語、中国語、フィリピン語の通訳ボランティアが少ないのが現状です。

委 員：定住志向が75%以上と言うのは良い数字だと思います。定住志向を高めるために、社会福祉面から見ると、今、サービスがあることが当たり前だが、なくなれば不便に変わることになります。利便性を追求していかなければならないと思います。

委 員：豊郷町内にサービス付き高齢者住宅が数棟できています。それに伴い、他町から高齢者の流入が見られています。人口の自然増加ではなく、高齢者の流入による増加の数値はありますか。受け入れる市町は、流入に伴っての世帯分離、生活保護受給者世帯の増加があることも含め、問題も出てきているのではないのでしょうか。受け入れ側として、十分に検討していただきたいと思います。

事 務 局：年齢別での移動は確認できますが、高齢者住宅利用のために流入された高齢者の数値については把握しておりません。住民課などと検証していきたいと思います。

委 員：滋賀県全体の問題であるように感じます。他府県に比べて、豊郷町の土地の価格が安価であることから高齢者も増加していますが、若い世代も増加しています。しかし、交流が少ないようですので、各区の努力が必要ではないのでしょうか。滋賀県、豊郷町は良いところがたくさんあるのに、全般から見て、PRがあまり上手ではないように感じています。

委 員：観光客を受け入れる体制について、人の労力と、見込んでいる客数がマ

ツチングしているのかと言う検証が必要だと思います。そして、若い世代の増加は、流入の目的が、土地が安価で一軒家が購入しやすいと言うことのように、地域活動に参加して欲しいと思うのであれば、関わりやすいまちづくりを作ることが大事だと思います。イベントを運営する側も、受け入れる体制を持つようにすればよいと思います。

委員：検証は大事だと思いますが、時間と労力が必要になり、すぐには計画に反映できないように思います。そして、アンケートを見て、健常者を基本としてビジョンが作成されている内容だと思いました。外見では分からない障害を持った子どもが多いです。皆が誰でも、例えば、車いすでどこにでも行くことができるような、障害者にやさしいまちにしてほしいと願っています。今回のアンケートやワークショップで、当事者の意見も取り入れてほしいと思いました。

委員：今回のワークショップでは当事者の親御さまが参加されており、ご意見が出ていました。

委員：犬上地区で、子どもの海外短期留学が実施されていないのは豊郷町のみです。青少年育成に多いに役立つところではないでしょうか。

委員：海外短期留学については、以前から教育委員会で検討をしています。進むか進まないかは、なかなか難しい話しになります。

委員：江州音頭は、観光のメインでありながら産業振興課との連携プレーがなく、行政からのバックアップはありません。町のバスに「発祥の地」と掲載されてはいますが、町の職員は全員踊ることができるのでしょうか。観光と物産を関連付けながら、まちの代表的な江州音頭についての発信をしてほしいと思います。保存会では、運動会前に保育園や幼稚園、小学校や中学校に、傘踊りを中心に指導に出向いていますが、成長するに連れて忘れていってしまうようです。30名ほどの会員で継続していくのは難しい点も、ご理解いただければと思います。

委員：県外出身者は、江州音頭に触れる機会は少ないと思います。待つばかりではなく、どのようにしていけば広げられるか、例えば、字ごとで高齢者が中心になり、若い人に教える機会があっても良いと思います。

委員：江州音頭には補助金は出ています。夏祭りには全員の参加を促しています。踊りを教えるには、保存会とボランティアとは違いますので、依頼がないと行くことが難しいです。

委員：皆で踊ってもらうようにするために、豊郷小学校では、給食の前に坊っちゃんかぼちゃんなど豊郷町が主体となるような歌を江州音頭の替え歌にして流しています。このようにして身近に広げて行ってみるのも一つだと思います。垣根をつくらないほうが良いと思います。

委員：人口移動を見ていますと、男性は20歳から29歳、次に、15歳から24歳までの転出が多いことは、実家はあるが進学や就職がともなうため理解ができます。女性は15歳から24歳の転入が見られ、豊郷病院附属准看護学院への入学かと思っています。男女共に、年齢が高くなると転入増加が見られています。住む便利さが分かる年齢になれば住まれるが、そこをどのように今後肉付けしていくか考えていかなければならない。

メディアでも住みやすい町として紹介され、人を呼び込むチャンスだと思っています。他府県からの移住者や転入者を呼び込む対策や、若い世代が出て行っても家族をもって住むのは豊郷だと考えてもらえるようなことを行政として真剣に考えていけばよいと思います。

委員：中学生のワークショップの意見では、治安面で可能なこともあれば、J Rの設置など不可能なことがあります。「知名度を上げたい」とありますが、どのように上げたいと思っているのでしょうか。また、江州音頭のPRを東京で開催されるとのことで、補助金の拠出が議会で可決されましたので、活動補助についてご理解いただければと思います。

事務局：「知名度をあげたい」とは、豊郷町はすでに良いまちなので、そのPRとしてさらに上げたい、と言うことです。

委員：中高年の世代が活躍しないと、若い世代を引き寄せられないのではないのでしょうか。空家対策へのボランティア活動がありますが、そちらでの認知症予防教室や、障害者へのサービス提供について役場も考えていただければ良いのかと思います。土地の価格が安価である、給食費が無料であるだけではなく、このまちに住んで楽しい、と思えるまちづくりを考えていかなければと思います。

会長：住み良さ、人にやさしい、医療・福祉面で充実しているまちづくりを突き詰めると言う方向性があるのではないかと感じています。

(2) まちづくりの課題と基本方針について

会長：まちづくりの課題が何であるか、どのように方針に結び付けていくのかを検討していきたいと思います。例えば、目標の一つである、「持続可能な行政経営の推進」につきまして加えてほしいと思うのですが、具体的には、PPP（公民連携）やPFI（PPPの代表的な手法の一つ）、以前で言う民間活力の導入に当たりますが、滋賀県下では進んでいませんので、一層、進めていくことが必要であると思います。

委員：宅地がニュータウン化され、若い世代が居住されていますが、農地がある地域は宅地化がなされていないので、地域差の解消がまちとしての課題だと思います。

事務局：圃場整備が終了していない下枝、沢地区は埋められていますが、6つの集落がある中山道より東は、整備が終了して埋めにくいという現状です。農業委員会の中でも、「全体的に見直しが必要ではないか」という意見をいただいています。豊郷町でできることは限られてきますが、今後、検討していきたいと思います。

委員：圃場整備地と未整備地の田との隔差が出てきています。当時、将来を見越して土地改良から外して残していた地域もありますが、見通しが立っていないため、完全に圃場整備地として制限されている地域があることをご理解していただければと思います。

委員：各字で、農業振興地域を少しずつでも外す方法を取っていただけたら解消になると思います。補助金はいつまででしょうか。

委員：補助金の年数は決まっていますが、土地改良区の方針がありますので、

田んぼ以外に利用できないこともあります。

委員：全てを網羅しようとせず、実現可能なものを見て行くべきではないでしょうか。ワークショップの結果から若者が期待されていることが分かったので、若い世代に参加をしてもらい、計画を進めていくようにすれば、実現できる可能性は上がるのではないのでしょうか。

委員：問題や目標案を住民に理解してもらうことも、大事ではないでしょうか。そして、不謹慎かもしれませんが、豊郷町は災害が少なく、安全なまちとしてアピールできるのではないかと思います。次回でよろしいので、「防災・減災対策」について、まちとしての考え、内容を詳しく聞かせてほしいと思っています。

委員：「環境基本計画は必要ない」という見解が出ていますが、ぜひ、作成してほしいと思います。例えば、騒音や振動にしても市町で対応していかなければなりませんので、「暮らしの安全・安心力アップ」の中に、作成は必要だと思います。

委員：課題や目標は行政が過去から取り組んでいる流れではないでしょうか。記載していなくても、取り組んでいくのではないかと思います。空家の活用にしても、豊郷町には空家バンクがなく立ち遅れたところがあります。そのような遅れを少しずつ前に進めて行くことが大切ではないかと思います。2028年まで人口7,300人を維持したいと言うのは理解できます。例えば、豊郷町は民間の業者が宅地整備をしているが、他の地域では行政が分譲している地域もあります。これから行政として何を実施していくのか見えないところがあります。

会長：総合計画の作成方法としては、重要度に応じて最直近で取り組むもの、中長期的に取り組むものと言うように、期間を決めていく方法もあるかと思います。

委員：空き店舗を活用するなどして、人口維持ができるようにしてほしいと思います。

3. その他

・「ご意見シート」の提出と期限について

…10月2日（火）が締め切りです。

・第2回審議会でのKPIの指標の内容について

…ご指摘があった部分は、備考欄にコメントを記載しました。こちらを国に報告いたします。また、ホームページにも公開する予定です。

・今後予定について

10月12日：町長、教育長へのヒアリング

10月23日：全管理職会議

11月1日：第4回総合開発審議会

11月28日：第5回総合開発審議会

・第2回総合開発審議会の議事録の公開について

午後3時35分終了